

伏見すみれ保育園の自己評価

令和1年度

No	項目	評価
----	----	----

【評価について】 A - 理想的状態 B - 通常行われている状態 C - 一部改善すべき状態

1. 保育理念・保育観

1	保育士一人一人が、伏見すみれ保育園の保育理念・保育方針を理解している。	B
2	常に保育方針や保育観を確認出来るような機会をつくっている。	B
3	一人一人の主体性を大切に保育をしている。	A
4	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。	A

2. 保育計画・指導計画

1	保育方針のねらい及び内容が達成出来るような保育課程や保育計画を立てている	A
2	保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握し年間計画・月案・週案を立てている。	A
3	3歳未満児は、現在の姿を理解し、見通しを持って一人一人に応じた保育計画を立てている。	A
4	配慮の必要な子には、その子に応じた保育計画を立てている。	A

3. 食育

1	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている。	B
2	栄養士・保育士等が連携し、会議等で意見を交わしながら、より良い給食になるよう努めている。	A
3	地元の食材や旬の食材を取り入れ、様々な食材を味わえるようにしている。	B
4	給食やおやつは手作りをしている。	A

4. 職員構成・役割分担・研修

1	職員の仕事や役割が明確であり、連携を取って円滑な園経営が出来ている。	B
2	危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制を整えている。	B
3	職員が積極的に協議会活動・セミナー等に参加し、園の保育内容を深めるための活動をしている。	B
4	園内研修と園外研修の計画を立て、実行している。	A
5	施設設備や遊具等の常時あるいは定期的な安全点検を行っている。	A

5. 保護者支援

1	保護者と保育士での良好な関係を作ろうとしている。	A
2	園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている。	B
3	保護者の状況を理解し、個人情報の漏えいに気を付けている。	A
4	子育てのパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。	A

6. 子育て支援

1	地域に開かれた園として、日々子育てをしている親子を受け入れている。	A
2	地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている。	C
3	子どもの心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるようにしている。	B
4	園生活の子どもの様子を地域に発信している。	A

7. 地域社会との連携

1	定期的に地域施設の人たちとの交流を行っている。	A
2	定期的に地域住民や幼稚園・保育園との会議や職員交流を行っている。	B
3	高齢者施設などとの交流を深め、高齢者の方を敬う気持ちを育てている。	B

・令和2年度に向けた改善策

- * 園内の保育環境を衛生的にかつ快適にするための改善を計画的に進めてゆく。
- * 個々の保育知識や情報の質の選別と共有することで、園内保育の質全体を向上させたい。
- * 保護者と保育士、保育士と他職員、正社員とパート職員間の円滑な情報と理解を深める。

伏見すみれ保育園の保育士の自己評価

令和1年度
保育士(補助含)9名

No	項目	評価		
----	----	----	--	--

【評価について】 A－理想的状態 B－通常行われている状態 C－一部改善すべき状態

1. 基本項目

		A	B	C
1	保育の基本(保育方針・理念)や園の理念保育目標を理解している。	5	4	
2	保育の計画や実践に向けて創意工夫に努めている。	6	3	
3	保育雑誌や専門書などを读んだりして、保育の情報を集めている。	4	4	1

2. 子どもとの関わり

		A	B	C
1	一人一人の発達を理解し接している。	7	2	
2	子どもの言葉にならない思いやサインなどの心の動きを理解するよう努めている。	7	2	
3	食事や排せつなどの生活に必要な活動に自ら取り組むように配慮している。	7	2	
4	食事やおやつなどを楽しめる雰囲気づくりをしている。	7	2	
5	危険を意識して行動するように安全について指導している。	8	1	
6	子ども同士がお互いの気持ちや発言を受け入れられるように配慮している。	6	3	
7	活動を通して共用の道具や遊具を大事にすることを体験できるようにしている。	6	3	
8	家族の愛情に気づき、家族を大切にしようとする気持ちを育てている。	7	2	
9	感じたことや考えたことを自由に表現する機会を作っている。	6	1	2
10	様々な素材や用具に触れて自分で工夫して遊べるようにしている。	5	2	2
11	子どもの作品を大切に扱い、工夫して飾っている。	4	4	
12	「ありがとう」や「ごめんなさい」などの言葉で相手の気持ちを大切に指導をしている。	7	1	1
13	乳児期にふさわしい安全で、衛生的な環境を心掛けている。	7	2	
14	一人一人の生活のリズムに合わせて、授乳や睡眠がゆったりととれる場所や時間を設けている。	6	3	
15	職員間で連携を取って保育している。	9		

3. 保育環境

		A	B	C
1	一人一人が安心して過ごせる環境づくりを心掛けている。	6	3	
2	マニュアルをもとに危険管理対策に取り組んでいる。	5	3	1
3	子どもの動線を考えて遊具や用具などを配置している。	5	4	
4	一人一人の興味に合わせて好きな遊びが出来るようにしている。	6	2	1
5	四季折々の行事を保育の中に取り入れている。	6	3	

4. 保護者との関わり

		A	B	C
1	個々の家庭の養育方針を理解している。	4	5	
2	送迎時や連絡帳などで日常的な情報のやり取りを大切にしている。	7	2	
3	懇談会など、保護者との意見交換の機会を設けている。	7	2	
4	緊急時は電話などで迅速な連絡を行うなど伝達方法も配慮している。	7	2	
5	丁寧な言葉や敬語を使っている。	6	3	
6	苦情や要望には謙虚に話を聞いて対応している。	6	3	

5. 他の保育者との関わり

		A	B	C
1	園長をはじめ、同僚を尊重し良好な関係を築いている。	7	2	
2	報告や連絡。相談を正しくするように心掛けている。	9		
3	お互いの状況や役割を理解し、園が目指す目標に向けて協力している。	6	3	
4	研修などを通して、お互いに知識や技術の習得や向上を図っている。	4	4	1

総 評

職員間における連携意識や協力体制、報告・連絡・相談においての意識が高く、人間関係や業務内容に常に高い意識をもって職務についていることが理解出来ます。子どもの自由な表現、創意工夫した遊びとは何かをもっと職員同士で話し込むと保育環境の作り方やおもちゃの与え方などに工夫が生まれてくるように思います。

伏見すみれ保育園の保育士の自己評価

令和1年度
保育士(補助含)9名

No	項目	評価		
----	----	----	--	--

【評価について】 A－理想的状態 B－通常行われている状態 C－一部改善すべき状態

1. 基本項目

A B C

1	保育の基本(保育方針・理念)や園の理念保育目標を理解している。	5	4	
2	保育の計画や実践に向けて創意工夫に努めている。	6	3	
3	保育雑誌や専門書などを読んだりして、保育の情報を集めている。	4	4	1

2. 子どもとの関わり

A B C

1	一人一人の発達を理解し接している。	7	2	
2	子どもの言葉にならない思いやサインなどの心の動きを理解するよう努めている。	7	2	
3	食事や排せつなどの生活に必要な活動に自ら取り組むように配慮している。	7	2	
4	食事やおやつなどを楽しめる雰囲気づくりをしている。	7	2	
5	危険を意識して行動するように安全について指導している。	8	1	
6	子ども同士がお互いの気持ちや発言を受け入れられるように配慮している。	6	3	
7	活動を通して共用の道具や遊具を大事にすることを体験できるようにしている。	6	3	
8	家族の愛情に気づき、家族を大切にしようとする気持ちを育てている。	7	2	
9	感じたことや考えたことを自由に表現する機会を作っている。	6	1	2
10	様々な素材や用具に触れて自分で工夫して遊べるようにしている。	5	2	2
11	子どもの作品を大切に扱い、工夫して飾っている。	4	4	
12	「ありがとう」や「ごめんなさい」などの言葉で相手の気持ちを大切にしている指導をしている。	7	1	1
13	乳児期にふさわしい安全で、衛生的な環境を心掛けている。	7	2	
14	一人一人の生活のリズムに合わせて、授乳や睡眠がゆったりととれる場所や時間を設けている。	6	3	
15	職員間で連携を取って保育している。	9		

3. 保育環境

A B C

1	一人一人が安心して過ごせる環境づくりを心掛けている。	6	3	
2	マニュアルをもとに危険管理対策に取り組んでいる。	5	3	1
3	子どもの動線を考えて遊具や用具などを配置している。	5	4	
4	一人一人の興味に合わせて好きな遊びが出来るようにしている。	6	2	1
5	四季折々の行事を保育の中に取り入れている。	6	3	

4. 保護者との関わり

A B C

1	個々の家庭の養育方針を理解している。	4	5	
2	送迎時や連絡帳などで日常的な情報のやり取りを大切にしている。	7	2	
3	懇談会など、保護者との意見交換の機会を設けている。	7	2	
4	緊急時は電話などで迅速な連絡を行うなど伝達方法も配慮している。	7	2	
5	丁寧な言葉や敬語を使っている。	6	3	
6	苦情や要望には謙虚に話を聞いて対応している。	6	3	

5. 他の保育者との関わり

A B C

1	園長をはじめ、同僚を尊重し良好な関係を築いている。	7	2	
2	報告や連絡。相談を正しくするように心掛けている。	9		
3	お互いの状況や役割を理解し、園が目指す目標に向けて協力している。	6	3	
4	研修などを通して、お互いに知識や技術の習得や向上を図っている。	4	4	1

総 評

職員間における連携意識や協力体制、報告・連絡・相談においての意識が高く、人間関係や業務内容に常に高い意識をもって職務についていることが理解出来ます。子どもの自由な表現、創意工夫した遊びとは何かをもっと職員同士で話し込むと保育環境の作り方やおもちゃの与え方などに工夫が生まれてくるように思います。